

平成 31 年度霞台厚生施設組合議会第 1 回定例会発言通告一覧

【一般質問】

順	氏 名	質 問 事 項	答弁を求める者
1	小 松 豊 正	<p>1 新広域ごみ処理施設の建設費総額と財源について</p> <p>(1) 前回答弁のあった総額 184 億 2 千万円にはっていないのは、解体工事費だけか。</p> <p>(2) 現在稼働している 3 つのごみ処理施設の解体工事費を新広域ごみ処理施設の建設費総額に入れないと、住民にとって金額の大きさがリアルに認識できないので入れるべきだと考えるが、なぜ入れないのか。解体費はどのように見積もっているのか。</p> <p>松戸市では約 200 トンの規模の解体費用が 12 億 1,000 万円となっている。トン当たり 605 万円です。単純に処理能力のトン数で考えれば、現在の霞台が 126 トン、茨城美野里が 105 トン、新治地方広域が 120 トンで 3 施設合計で 351 トン×605 万円＝21 億 2,355 万円となります。そうすると総額は 205 億 4,355 万円となります。優に 205 億円を超え、大変な額になる。財源はどう考えているか。</p> <p>(3) 中間置場に係る基本方針はどうなったか。内容と総事業費、どこが負担するのか説明を求める。</p> <p>2 マテリアルリサイクル施設の建設費は妥当か</p> <p>(1) 第 1 期計画の 22 億円が予定価格では 33 億になり、落札価格は約 40 億円になった。当初の 22 億円が落札では約 40 億円と 1.8 倍に膨れ上がった。なぜこういうことがおこったのか、明確な説明を求める。</p> <p>(2) マテリアルリサイクル施設の建設費の基準はなにか。</p> <p>(3) 全国的な例からも、妥当な価格とは言えないのではないかと、全国的な例をあげて説明を求める。</p> <p>3 地域還元施設等整備について</p> <p>(1) モデル候補地 A の場合とモデル候補地 B の場合のメリット、デメリットについて説明を求める。</p> <p>(2) なぜ、ごみ焼却熱をお風呂に活用しないのか、納得のいく説明を求める。</p> <p>(3) 供用開始までの期間、これまで「白雲荘」を利用してきた地域住民には多大の不便をかけることになる。これらの住民がふれあいの里を利用した場合、差額の 300 円を軽減してほしいとの要望は強いが、検討結果はいつ出すのか。</p> <p>4 3R の実効ある推進について</p> <p>(1) 平成 30 年第 2 回定例会で「2013 年度を基準として 2021 年度までの 8 年間に、ごみの発生量を 15.6%削減、資源化率は 24.8%に引き上げるとの目標を掲げている」との答弁があったが、平成 29 年度の実績についてどのように総括しているか。</p> <p>(2) また「新施設の稼働までの 3 年間で 3R を積極的に推進していく」と答弁しているが、これを保障する実効性ある対策をどう打つのか。</p> <p>(3) 現在、3 市 1 町で実行しているごみの減量化、資源化（容器包装プラスチック類、紙類の資源化等）をさらに推進するべきだがどうか。そのことと年間約 16,000 メガワットの発電を実施することは矛盾するのではないか。</p>	<p>正副管理者 担当課長</p> <p>管理者 担当課長</p> <p>正副管理者 担当課長</p> <p>正副管理者 担当課長</p>